

中学校・第3学年・音楽科／場面のイメージを表す音楽をつくろう①

育成を目指す資質・能力

音のつながり方の特徴を表したいイメージと関わらせて理解するとともに、課題や条件に沿った音を組み合わせる技能を身に付けながら、まとまりのある創作表現を創意工夫し、創作に親しむ。

ICT活用のポイント

- ・色分けされた音の配列を手がかりに、音の連ね方の違いによる特質や雰囲気の変化を捉える。
- ・つくった音楽を聴きながら、イメージした音楽になっているかを実際の音で確認する。
- ・ペアやグループで発表し合い、感想やアドバイスを参考に修正したり工夫を重ねたりする。
- ・修正や工夫の前後を比較して、その効果を確認する。

つくりたい音楽のイメージをもつ

音の連ね方を様々に試す

ペアやグループで発表し合う

修正したり工夫を重ねたりする

事例の概要

- ①家庭科の授業で作成した紙芝居をもとに、音楽をつける場面を選択し、どのような音楽をつくりたいかイメージをもつ。
- ②音楽制作ソフトを用いて、イメージに合った旋律をつくる。
 - ・色分けされた音の配列を手がかりに、音の連ね方を様々に試す。
 - ・つくった音楽を保存し、それを再生して、特質や雰囲気を感じ取る。
- ③つくった音楽をペアやグループで発表し合う。
 - ・互いの作品のよいところやさらに工夫ができそうなところを伝え合う。
- ④友達の感想やアドバイスを参考に、修正したり工夫を重ねたりして、よりよい作品へと仕上げていく。

中学校・第3学年・音楽科／場面のイメージを表す音楽をつくらう②

【事例におけるICT活用の場面①】



色分けされた音の配列を手がかりに、音の連ね方を様々に試す場面

◎ ICT端末を活用することによって…

- ◆ 楽譜に書いて記録する必要がないため、即興的に音の連ね方を試す時間を多く確保できる。
- ◆ つくった音楽を保存し、それを再生することによって、つくった音楽をその場で音で確認することができる。

【事例におけるICT活用の場面②】



ペアやグループでつくった音楽を発表し合い、感想やアドバイスを伝え合う場面

◎ ICT端末を活用することによって…

- ◆ つくった音楽を発表する際に、演奏の練習をする必要がないため、創作表現を創意工夫することに集中できる。
- ◆ 感想やアドバイスを参考に、修正したり工夫を重ねたりすることが比較的容易にできる。
- ◆ 修正や工夫の前後を比較して、その効果を確認することができる。

○ 活用したソフトや機能：SONG MAKER（音楽制作ソフト）